

広報



かわにし

平成4年 1/10 No.401

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 1月1日現在 —

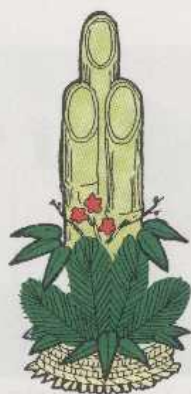
男 4,442 (-3)

女 4,476 (-1)

計 8,918 (-4)

世帯数 2,221 (-2)

()は前月比較



迎春

上野保育園モチつき大会

— 12月12日 —



休日救急医

1月12日 第二藤巻医院(上野) ☎ 68-2018

15日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100

19日 中条病院(中条) ☎ 57-3018

26日 富田医院(神明町) ☎ 52-3269

2月2日 大島医院(川原町) ☎ 52-2957

9日 千手診療所(中央町) ☎ 68-2034

11日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711

議会報告

適正な財産の管理を

柳 藤作 議員

十二月十七日から二十一日まで、五日間の会期で第八回町議会定例会が開かれました。

初日の十七日は、八人の議員による一般質問があり、翌十八日には、平成二十一年度の一般会計と、七つの特別会計決算が認定されました。

十九日は、町分租金条例など条例改正六件、一般会計補正予算など十件を原案どおり可決。「豪雪地帯対策特別措置法の改正に関する意見書」ほか四件の意見書を原案可決しました。

最終日の二十一日は、初日に建設住民常任委員会に付託されていた一川西町地域福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例を原案可決し、第四次町総合開発計画基本構想(変更)を原案どおり可決しました。

また、町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例など、三件を原案どおり可決しました。一般質問の概要を中心にお知らせします。(質問順に掲載)

① 地方自治法改正に伴う町有財産の管理について、町の対応と町民の指導はいかに
② 西山開発に伴う環境調査が一方的に実施されておるようである。十分な事前協議と中立機関の測定が必要ではないか

南 雲町長

① 今回の改正は、地縁による団体の権利義務に関する事柄であり、これが町有財産の管理に直接影響する事態はない。しかし、長に認可権の行使が課せられたことから、認可基準を定め、町と地域における財産管理の調整整備に取り組んでいきたい。
② 環境調査については、開発業者の義務として実施するもので、環境の現況調査と理解している。これは、町の承認を必要とする

ものでもなく、調査の方法など、具体的な計画書の提示、協議も受けていない。

しかし、概要の書類をちょうだいしておるので、関係者に周知できなかったということは遺憾であり、今後、こういった事態が生じないよう、十分に注意してまいりたい。



上空から眺めた西山一帯

しめ縄づくりの積極的推進を

上村 広治 議員

① しめ縄工場の完成に伴う、しめ縄・生花の生産、出荷に対する考え方について

(1) この工場を作った会社の業務内容に、生花など植物の栽培・販売もあるようだ。この業務を行政・農協で応えることはできないか。

(2) 総合開発計画における、花き栽培の指導方針は、

(3) 花き栽培と転作田利用をどう取り組むか。

(4) 高冷地農業技術センターとの連携は。

② 県天然記念物赤谷大ケヤキ周辺の環境整備の考えは

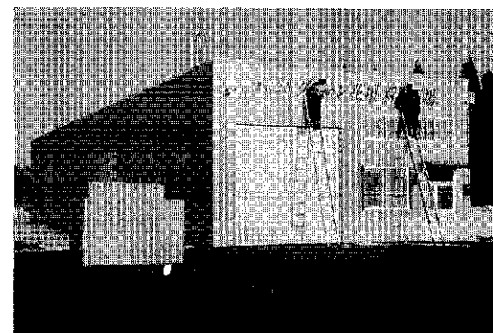
南 雲町長

① (1) 町の花き栽培が育たなかった過程に、絶対的信頼の水稲に対する思い入れ、土地条件などといった論議がある。しかし、ごく少数ではあるが、小菊の露路栽培に取り組んでいる実態もあり、中里、津南地区では花きがりっぱに栽培されていることから、川西町が花き栽培に適さないということはないと思われる。今後十分検討される必要に迫られていると理解している。

(2) 産業振興の対策という項目の中で、重要施策としてとらえておる。しめ縄については、農産品の生産拡大や就業の場の確保のためにも、積極的に推進が必要とされているし、生産量の増加倍制の研究も進めることとしている。

(3) 今後の有望作物として、計画の中で位置付けているし、花の生産とマッチした町の環境づくり、イメージアップを考えた運動展開も合わせて施策を進める計画になっておる。

(4) 果が設置している施設で、高冷地における水稲、野菜、花きなどの栽培技術の実証、各種調査を実施している機関。ここで



三領にできたしめ縄等保管工場

実証された技術、調査結果については、市町村、生産者、関係機関に伝達されている。

また、このセンターは、中魚沼農業改良普及所とも密接な連携を保っており、当町における技術指導などについては、普及所を通じて指導をいただいている。花きの生産を具体的に進める際には、これらの機関から多面的な指導、助言をいただかなければならないと受けとめておる。

② 大ケヤキは、観光協会が管理経費の助成や、本年度は境内の北側・町道沿いの石垣の補強を実施しているところである。

また、今後、町道をはさんで隣接をしている場所に宅地の空きが出るようなので、駐車場としての利用を主体にした、集落のコミュニティの場としての整備なども相談している。

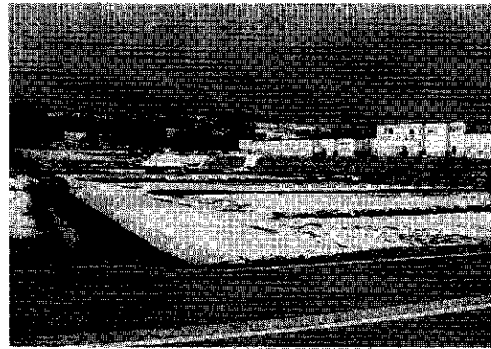
住民参加の町づくりの一つと考え、区のみなさんと話し合いながら、逐次、整備を進めたい。

排雪場所の確保を

北村 公男 議員

排雪場所は確保できているのか。また、個人が実施する排雪については指定場所があるのか。水品建設課長補佐 千手・上野両地区は、建設機械車庫北側の田を借用、そこを排雪場所として指定してある。

ここは一般の方の排雪に利用していただいてもらって結構である。ただ、多量の排雪をする場合は、一報をお願いしたい。橘地区については、県道小白倉木落線の木落から仁田方面に登ってくる坂の途中に、地区で確保いただいた場所を指定。また、仙田地区については、浜海



建設機械車庫脇の排雪場所

川沿線を指定してある。千手・上野地区については、もう一カ所確保したい。しかし、適地がなく、なかなか見つからないという現状である。

環境の整備(整美)を図れ

富井相四郎 議員

町の活性化を図るためには、悪臭公害をなくすことが先決

- (1) 養豚家と地域の協定書に基づき飼育頭数の遵守は。
- (2) 飼育頭数が多すぎるのではない。
- (3) 施設の移転・廃業などの話し合いはどうなっているか。
- (4) 飼育管理の指導と徹底を。
- (5) 上野養豚団地も調査などの

必要性がないか。

南 雲町 長

- (1) 経営規模を拡大する場合、町の了解を必要とする規定に基づいて対応してきている。現在では、千手養豚団地組合に参加している二農家別に母豚の数を定め、二農家で二四〇頭を超えてはならないことを昭和六十一年に約束している。これを上回る

規模拡大に了解を与える考えは持っていない。

- (2) 飼育規模の多いことが、最も原因になっていると判断せざるを得ない。生産調整についても養豚農家に対して提案した経緯もあるものの、合意を見ていないのが実態である。
- (3) 数年前から養豚農家側と話し合いを進めている。しかし、移転先の関係で、出口の見えないという状態である。

千手養豚団地の一農家が、いま真剣に計画を練っているような段階にある。その実現方に向けてお手伝いができないものか協議し、その都度指示している。

小学校の将来が不安

金子澄男 議員

南 雲町 長

- ① 国道四〇四号大白倉トンネル、岩瀬・白倉間の早期改良と、同間の現道除雪対策の強化を
- ② 今後の小学校について
- (1) 仙田小、白倉小児童の減少に伴い、小規模校を大規模校に統合し、教育内容の充実を図れないか。また、山村留学の推進とあわせて、研修センターの設立と指導員養成を。
- (2) 近年、女子五人、男子一人というクラスが編成される。この編成が子供に及ぼす影響を心配する。



上野養豚団地

具体的なものがまだ見えていないという状況である。

- (4) 施設の清掃、環境の良好な状況での保持、管理作業に当たっての適切な時期・時間の選択、

- ① この事業を施工するため、毎年度割り当てをいただいている事業費は、全体の子定額からすると少額であり、この状態では完了までまだまだ時間を要するわけである。一年も早い完成を目指し、国県に働きかけてもらいたい。
- 現道除雪対策については、雪崩対策が完了したこと、六十三年度から県の第三種除雪路線に認定。道路の確保に努めている。しかし、急カーブ、急勾配の道路のため、みなさんに満

約束事項の遵守、地域住民の方々の好ましい関係を保つための努力など、全般にわたって一層指導を徹底するよう努めたい。

- (5) 最近、施設を大幅に改善したという経緯や、新たな問題の派生により、私どももたいそう心を痛めておるところである。

公害に関しては、事業者自身の改善努力なしには解決が不可欠であり、関係地域住民の方々の関係も無視できないという認識のもとに、住民の皆様から前面に出ていただいた、農家側との協議の場を作ることなども、これから必要になってこようかと思っておる。

足をいただける状況にない。

本年からは、十センチ以上の降雪で除雪車が出動するよう改善されているので、今までよりは良い状態で通行いただけるものと考えている。

- ② (1) 学校の存在意義は、児童生徒の教育面だけにとらわれず、行政、地域振興、集落形成にかかわる重要な要素が含まれているので、慎重に対応しなければならぬと認識している。
- また、山村留学については、行政でも、推進委員会を組織して、よりよい実効があげられる支援体制を念願している。
- この事業の進展については、青少年研修センターと共同利用

できる山村留学センターの建設も考えなければならぬし、実現された場合は、指導員養成は必要なことと認識しておる。

(2) 石沢教育長 一人ひとりが集団の中で自分の力が発揮できるように自立心を育てることが大切なことである。

男女の区別なく、一人ひとり行き届いた教育をと、情熱を注がれておる先生方を信頼され、

地元負担金の軽減を図れ

戸田哲次 議員

様々な形で個人の経済的負担を強いられている今日、町道改良など、地元負担金の軽減を考えてはどうか

南 雲町長

これから進めなければならぬ二次改良や、受益地域を限定としにくい事業、都市計画事業などの関連から、地元負担を徴収できない面も出てくると考えられる。

平成四年度に全廃ということば申し上げられないものの、事

町の歴史に思いを起こせ

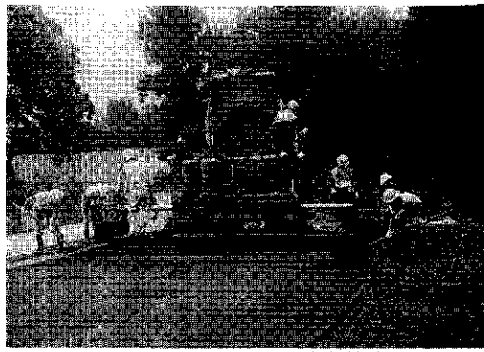
押木 貢 議員

① 文化会館の早期建設と、建設



延長840mの波海トンネル

情の許すかぎり対応してまいりたい。



町道仁田四十歩一号線舗装工事

計画の中に美術館の併設を

② 町の遺跡、史跡の具体的表示と再現を

③ 国際友好のために、農業研修生や川西高校を軸にした留学生の受け入れなどの計画と取り組みは

南 雲町長

① 現在、町文化会館建設委員会が検討を進めており、文化会館と合わせて公民館、図書館の併設についても、並行的に審議をいただいております。

また、美術館の併設については、建物はさることながら、展示する作品をいかにそろえるか、呼び込みのメーン、展示物の入れ替えなどを考えるとき、美術館の設置には予想外の大きな投資が必要である。

こういう問題こそ、広域市町村的に考えていく必要があるの

都会で働く町出身者の採用を

清水 進 議員

地元出身者で都会の企業の一線で働く人材を採用し、一般企業へ町職員を研修に派遣する考えはないか

南 雲町長

近年の傾向として、学卒予定者の就職先として、公務員志向が薄れ気味となっておることから、重要なこととして取り組んでゆくべき。その意味で、ウタ

昭和四十九年から始まった高倉国際村の建設



ではないかと思う。

② 石沢教育長 堅穴住居遺跡、

日本で二番目の配石遺構など、町史に写真まで掲載された中子南遺跡を見ても、これが発掘の

ころは、埋め戻しが最良の保護と指導されていた時代、しっかりとした保存も考えず、表示もされずに埋め戻したもので、現在、そのあった場所は見当が付けにくい情勢である。

今後、町文化財調査審議会や学識経験者などに諮り、前向きに対処したい。

③ 石沢教育長 昭和四十九年の高倉国際村建設をはじめ、六十二年からの国際結婚と、国際化が進んできている。

町の総合開発計画には、農業研修生や川西高校への留学生の受け入れ体制は計画されていないものの、海外研修制度は、国際交流の機会として好評である。国際化は、人と人の交流が先決なので、ご提案を高く評価し、今後の計画に資したい。

職員は親切な対応が必要です



図っておるところである。

今 創ろう 新しい 川西ものがたり

—第4次町総合開発計画後期計画を策定—

町では、この度、まちづくりの基本的指針となる「第四次総合開発計画基本構想（変更）及び後期基本計画（平成四十七年）」を策定しました。

今回の計画策定に当たっては、庁内に計画策定主任によるプロジェクトチームを編成するとともに、町内の各層・各地域代表による総合開発計画策定審議会（横山国六会長・委員三十四人で構成）を開催し、策定の過程からさまざまなご提案と審議をいただきました。

また、策定に先立って、町内の五百世帯と町出身の町外在住者二百人を対象に、アンケート調査を実施しました。

さらに、地域振興やまちづくりの専門家による専門委員会を組織し、客観的に見た町の現状や新しいまちづくりの方向につ

いて助言をいただきました。

基本構想については、『今、創ろう新しい川西ものがたり』を基本の考え方として、平成七年度に向けたまちづくりの方向を定めています。また、後期基本計画には、この構想を実現していくため、平成四年度から七年度までの具体的な計画が定められています。

「町のものがたり」を作るといふのは、町に住むことの誇りをはぐくむということです。各世代のだれもが誇りを持って、『この町ですと暮らしていたい』と思える町、『この町で子供を育てたい』と思える町を、みんなで作るのが計画目標です。また、『川西ものがたり』は、町民一人ひとりが町外の人に語りかけるものでもあります。私たちが誇りに思うものは「美し

い自然」「日本一のコシヒカリ」です。そして、町の特色として誇れるものは「ぶな」「信濃川」「語り継がれてきた生活の知恵」「温かい人情」など、たくさんあります。

これらをまちづくりに活かすことを考えて、全国の人々に「あの町へ行ってみよう」と思われるような、そんなまちづくりを目指します。

この基本構想（変更）と後期基本計画は、二十一世紀のプランとなる、第五次総合開発計画への橋渡しの役目も担っています。そして、来たるべき第五次総合開発計画策定までの間に、地区別の懇談会やさまざまな世代の町民集会などを重ね、町民一人ひとりが参加するまちづくり計画を組み上げていくことを考えています。

基本構想五つの柱

行政課題の実態を踏まえ、町民憲章に沿った町の将来像に向け、町民と行政が一体になって考え、手を携えて行動することを理念としたまちづくりを推進します。

心身ともに健康で明るい町

自らの健康は自ら守り育てることを基本に、町民と行政が一

体となった体制の整備、高齢化社会に合わせた心と身体のかやかな地域づくりを進めます。

このため、高齢者をはじめとして、全世代にわたる健康保持・増進活動の促進や、診療所施設の高度化に努めます。

また、安心して住むことのできる快適な環境、やりがいのある仕事と生活基盤の安定化、余

暇活動を促進する施設整備などの実現に努めます。

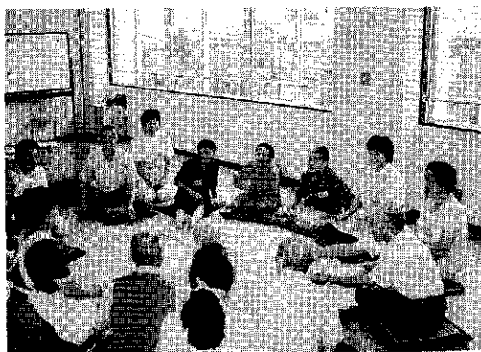


町民歩け歩け大会(7.21)

おもいやりと親切がいつばいの町

厚い人情とやさしさにあふれる町民性を基礎に、心豊かな福祉の里づくりを目指します。

給食サービスマン、事業やデイサービス事業など、多くのボランティアに支えられている社会福祉活動……、その実践者などと手をたずさえ、新たな施設整備を図り、この町で暮らし続けたい、この町で子供を育てたいと積極的に思えるまちづくりを推進します。



二年から始められたデイサービス事業（2・8・10）

雪を活かしたくましく発展する町

生活環境の整備に努めながら、



去年の雪まつり 人間ばん馬大会のーコマ

はたらく喜びにあふれる生産の町

生産組織再編成などによる農業振興の体制の強化を図り、商



ことし塩辛工場団地に誘致されたオーディオ用電源トランス製造工場

業環境の整備、企業の立地条件の整備を図り、若者に魅力ある就労環境の確立を促進します。さらに、各産業の付加価値を高めるため、ものだけでなく、知恵や情報・サービス売る第三次化に努めます。

香りゆかしい文化を創造する町

四季折々、美しい自然に囲まれて生活している当町民の、豊かな心を伸ばす文化の振興に努めます。

このため、地域に根づく伝統芸能や暮らしの文化を伝承するとともに、新たな川西の文化を

構想実現のための五つのプロジェクト

今後の川西のまちづくりを考え、実践していく上で重要なポイントです。町の資源を活かして当面の課題を積極的な方法で解消するとともに、町の誇りを醸成する方策をまとめました。

川西の顔シンボルづくり

川西と聞いて「ああ、あの〇〇の町ですね」と言われるようなものを育てることで、町民の

誇りは高まり、それが活力の源になります。

産業的には日本一のコシヒカリやそば、文化的には川西中のブラスバンド部など、相当の評価を得ているものもあり、これをまちづくりに積極的に活用します。

また、ハード的にも川西のシンボルをつくる必要があり、文化・医療・福祉など各種公共施設を核にして、ショッピングセ



県内でも有名になったナカゴグリーンパーク

ンター、飲食店なども配置したタウンセンターの建設構想を推

進めます。

仙田地区の振興

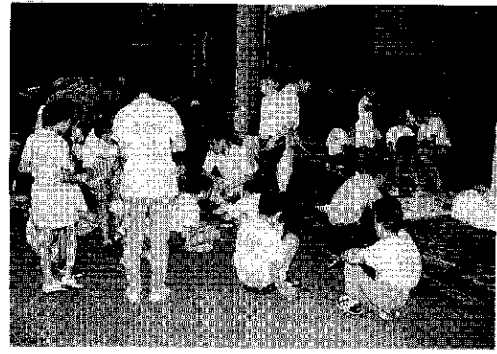
人口の流出に伴う過疎化と極端な高齢化が進む仙田地区に、新しい活力を吹き込む事業を展開する必要があります。

これには、仙田地域の持つてある集落景観、渋海川、廃屋、山菜、しめ縄づくりなど、有用な資源を有機的に結び付け、相乗的な活用を図ります。また、山菜まつり、山村留学の充実や国際村、小脇園などの来訪者と

地域の伝統芸能を披露する芸能協会発表会（2・8・19）



の交流推進により、新たな活動の引き出しを図ります。



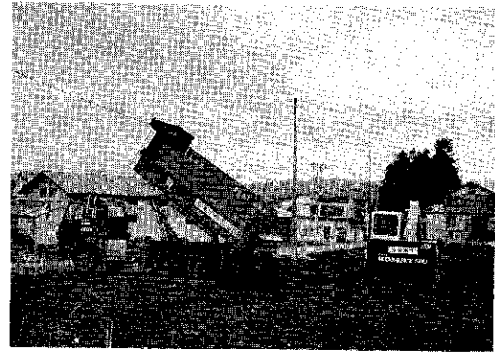
児童数の活性化をわらった
仙田地区の山村留学

保険医療福祉体制の確立

診療所を移転し、機能整備と高度化を図り、訪問看護や訪問介護体制を強化するため、医療・福祉スタッフの増員や技能向上に努め、真心のこもった医療・福祉サービスを進めます。

さらには、病気や痴呆、寝たきり状態を防ぐため、食を通して健康づくり、芸術文化やスポーツレクリエーション活動への参加、産業・福祉などの社会活動への貢献などにより、心と体のバランスのとれた健康づくりを促進します。

診療所を移転するため、高原田内に用地の埋め立てが始まっています。



地域間交流の推進

まちづくりは、人の交流活動から始まります。交流にあたっ



日本一のコシヒカリを味わい、若者の交流を図る稲刈りツアー

では「自分たちの楽しみを他の人たちに分けてあげる」ことを基本とします。節黒城跡やナカゴグリーンパーク、美味美食のコシヒカリやそばなど、多くの資源を結び付け活かし、楽しみながらの交流を積極的に推進します。

また、交流を容易にする交通路や交通機関の整備の推進とともに、行政の情報的先端性を活用して、町民の実施する地域間交流を積極的に支援します。



美しい自然を知ってもらおうと、緑の学校が開かれました。

地域環境の保全と意識の啓発

美しく豊かな自然と、そこに棲むホタルや小鳥たちを、二十

審議会委員のみなさん（順不同・敬称略）

清水 進（朝日町）	柄沢 和久（沖立）
高橋 幸一（赤谷）	南雲 久子（朝日町）
高津 富士男（寺ヶ崎）	小海 貴代美（神社町）
蔵品 喜信（霜条）	丸山 キミ（木島）
小林 勝国（中仙田）	高橋 保夫（上野）
丸山 満（高原田）	高橋 優（三領）
数藤 司郎（沖立）	上村 晴夫（上野）
渡貫 一芳（新町新田）	沢口 マツ江（上野）
上村 稔（下平新田）	小海 千春（小根岸）
田中 新一（農政事務所）	須藤 憲二（下原）
富沢 二郎（土木事務所）	村越 繁正（野口）
金子 越家（野口）	須藤 修（仁田）
戸田 健一（福祉事務所）	高橋 光政（室島）
丸山 秀夫（原田）	江口 逸雄（小白倉）
横山 国六（中央町）	齋木 和作（高倉）
松本 一仁（中屋敷）	小林 ナツイ（中仙田）
	滋野 豊子（野口）

一世紀を担う青少年に引き継ぐため、安全で快適な生活環境の保全、整備に努めます。

食べる人、作る人の健康を考えた農業、身近な自然のある楽しきの再認識、産業おこしまで結び付ける積極的な環境対策。

美しい自然を活かした四季の祭りなど、川西の誇る環境を徹底的に活かすまちづくりを推進します。

自分たちの住むまちが、生き

生きとして活気に満ちたふるさとになってほしい……これは、私たちすべての願いです。

いいまちは、やはり、そこに住む人たちが真剣に考え、自らはぐくんだ独自のテーマを持っています。みんなが「私はこういう町にしたい」「よし、これをやろう」と、みんなで考え、みんなで行動しましょう。町民のみなさんの一層のご協力をお願いいたします。

はる 申年

士有所不為
平成四年元旦



川西町長 南雲春雄

平成四年は申年です。「サルも木から落ちる」ことのないよう、年の始めから気持ちを引き締めて事に当たりたいものです。恒例となりました、町長と議会議長から、町民あてに新年のご揮毫をいただきました。合わせて、町では八代の申年生まれの方々が七二〇人おられます。全町民のおよそ八、一パーセントにあたります。輝かしい新春にあたり、申年生まれで、一月一日生まれか、その年の一番早い日に生まれた方を紹介します。

田村チカさん（赤谷）

明治29・5・30生（96歳）

去年は九十五歳の祝いを町からいただき、とてもいい年でした。ことしも健康で、趣味のマリづくりができることを楽しみにしています。

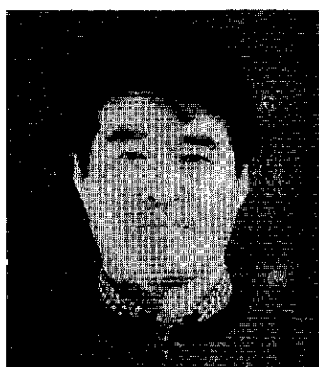


去年は大小いろいろなことがありました。でも、一つ一つ解決して「まあまあ良し」の年であつたと思っています。ことしも多くは望みません。家族がそろって健康で毎日を円満に過ごせればよいと思います。

四十年余り書き続けている日記、三年連続の日記帳は、来年から新しくなります。全部書き通すよう健康でいたいものです。

上村正彦さん（上野）

昭和31・1・2生（36歳）



去年は家族全員が健康で、大きな病気もなくいい年でした。ことしも健康で、家族全員協力し合っていると思います。ことしは、長男が小学校にあがるので、勉強を頑張ってもらいたいと思います。去年からラジオコンヘリコプターを始めました。気晴らしにとってもよいので、ずっと続けていきたいと思っています。

井川英子さん（新町新田）

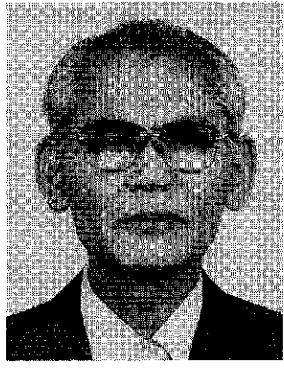
昭和7・1・1生（60歳）



去年は、最悪の年でした。というの、三ヶ月間も入院しなければならぬ大変な手術をして、今もまだ静養中なんです。ことしは、健康を第一に考え、家庭を大事に守っていききたいと思っています。料理を作ることが好きなので、うまい料理を家族に食べてもらって、「うまい」と言われると、とても嬉しいです。

小川ケンさん（高原田）
大正9・1・1生（72歳）





平成四年元旦

賀春

川町議会議長

小林 寅雄

おさん未



星名マスさん（沖立）
明治41・1・4生（84歳）

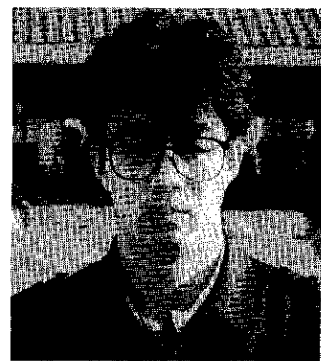
二十年前から仮り縫いの内職をしています。家にいて小遣い稼ぎができるので、仲間からもうらやましがられています。元気のうちは続けたいと思います。

小川正利さん（岩瀬）
大正9・1・1生（72歳）

新聞、テレビで報道されている米の輸入が、日本の考えどおりに進み、農民が安心して農業ができるような年になってもらいたいと思います。



小川知明さん（岩瀬）
昭和43・1・12生（24歳）



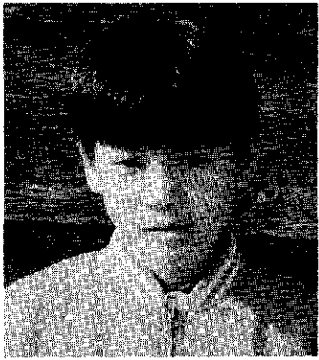
十日町の青果市場に勤めています。仕事や遊びにと、とにかく忙しい毎日、あわただしく過ぎた一年でした。
今までいろいろと親に迷惑をかけていたので、ことしは、親孝行の一つでもしたいと思っています。
車を運転することが好きなので、車で北海道旅行がしたいです。

水品芳子さん（中屋敷）
昭和19・1・2生（48歳）



家族の入院や職場の十周年、種々の行事に追われ、一年がとてもしばしば過ぎた気がします。
ことしは、親元を離れ一人暮らしを始める長男がおり、経済的にもゆとりのない年になりそうです。でも、せめて心にゆとりをもち、家族みんな健康で過ごせたらと思います。
時間とお金に余裕ができたなら、車でのお金と旅がしたい。

清水 巧さん（下平新田）
昭和55・1・1生（12歳）



去年四月から、上野緑の少年団の団長をしています。自然を守る運動や勤労活動は、いやだったけど、とても勉強になりました。その緑の少年団の事業も、あとは退団式だけです。活動を新聞にして残す仕事があり、先生から原稿を三枚書くように言われています。でも、まだ一枚しかできていないので、早く完成させたいと思っています。

2年度 決算

平成二年度の決算が、十二月の議会で認定されました。この決算は、平成二年四月一日から平成三年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会計の概要をお知らせします。

歳入は、四二億九、〇七
七万円、歳出は四一億三、
九七六万円で、元年度決算
に比べて、歳入では十二・
一%、歳出では十一・九%
増加しました。

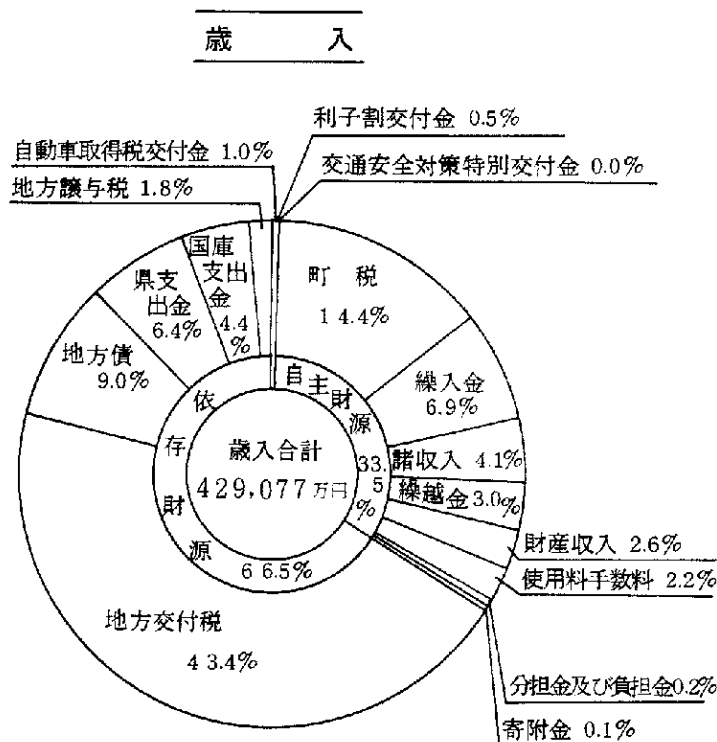
歳入は、町税、分担金、
負担金、使用料、手数料な
ど、町が自らの手で徴収す
ることのできる「自主財源」
と、国県支出金、地方交付
税、地方譲与税、地方債の
ように、国や県から定めら
れた額を交付されたり、割
り当てられたりする「依存

財源」によって構成されて
います。

町の歳入構造は、依存財
源の割合が高く、二年度決
算では、六六・五%となり、
元年度と比べて二・七ポイ
ント増加しました。国県支
出金が三・〇ポイント増加
したことが影響しています。
歳出の主な建設工事とし
ては、ふるさと広場ゾーン
整備工事、千手小学校大規
模改造、橋運動場照明施設
建設、公営克雪住宅建設、

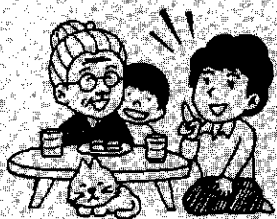
流雪溝・消パイ工事、町道
の改良舗装工事などがあり
ます。

また、行政事務を進める
ための経常的な経費のほか
に、町民の健康審査や各種
検診などの充実、高齢者な
ど各種福祉対策への対応、
多様化する生涯学習への取
り組み、農業振興策など、
目に見えないところにも、
皆さんの大切なお金が使わ
れていることも、見逃せな
い重要なことです。

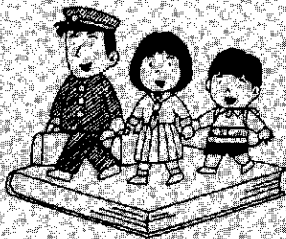


総額41億3,976万円はこのように使われました

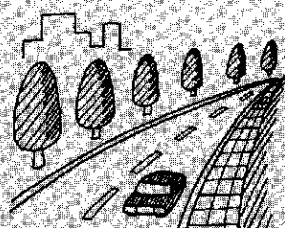
民生費 10.5%
4億3,353万円



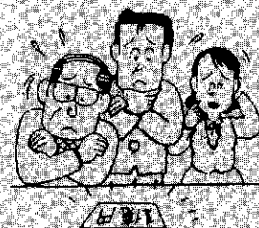
教育費 14.7%
6億657万円



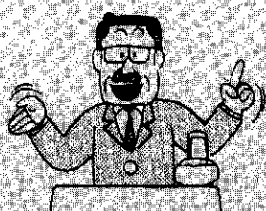
土木費 17.2%
7億1,166万円



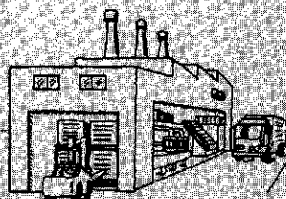
総務費 25.1%
10億4,201万円



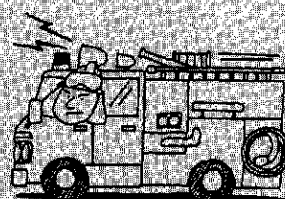
議会費 1.7%
6,958万円



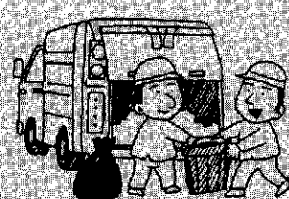
商工費 2.1%
8,717万円



消防費 3.1%
1億2,930万円



衛生費 5.6%
2億3,365万円



特別会計決算

国 民 健康保険	歳入	5億3,911万7千円
	歳出	4億9,534万1千円
国民健康 保険診療所	歳入	8,082万4千円
	歳出	7,847万9千円
仙田へき地 出張診療所	歳入	2,657万8千円
	歳出	2,444万7千円
老人保健	歳入	5億5,031万4千円
	歳出	5億4,906万4千円
地 域 休養施設	歳入	1億4,344万7千円
	歳出	1億3,825万7千円
簡易水道 事 業	歳入	2,245万8千円
	歳出	2,177万9千円
農村集落 排水事業	歳入	3億 335万 円
	歳出	3億 136万4千円



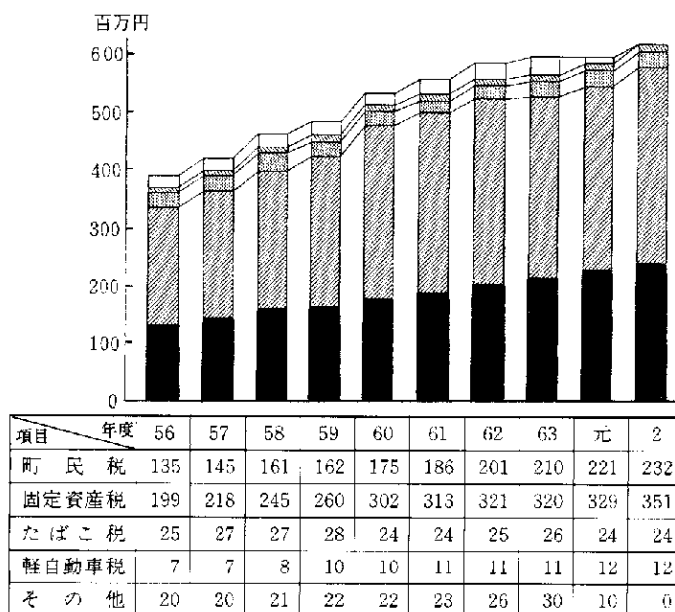
川辺地区の水管橋工事

ふるさと創生事業一、八三三人が
夢フライト



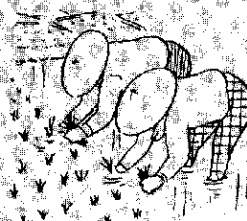
過去10か年の町税収入の推移

町民税 固定資産税 たばこ税 軽自動車税 その他

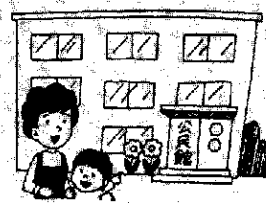


目的別歳出の内訳

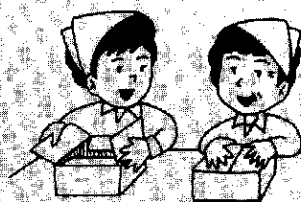
農林水産業費 8.9%
3億6,856万円



公債費 9.8%
4億567万円



労働費 0.4%
1,604万円



災害復旧費 0.9%
3,602万円



橘医療利用組合⑥

岩瀬 金子 幸 作

日本最古の病院

橘医療利用組合の全盛時代は診療所が病院に昇格した前後であつたらうか、昭和二十七年発行の日報紙（社名不詳）切り抜きに次の記事が見える。

橘病院は厚生連の「農協病院」としては、県下はおろか日本最古の病院だといふ。その名にふさわしく建物も今もって普通の民家を改造したもので、最近近代的な本館建設案も出たが、「このままにしておいたほうが我々農民は気楽に世話になれる」と地元の声があるほどだ。

病院は古くとも、昨秋大藤一夫院長をはじめ、佐藤外科医長、久保田事務長等スタッフが一新されてから、病院は急に火がついたように活気を早してきた。

母子相談所を開設

院内に母子相談所ができたのもそのひとつ。どこからも指示を受けず、病院独自で母子相談所を設けているのはこの病院だけだといひ、連日相談者が押しかけ、産児制限や農繁期におけ

る子供の健康、性生活など多くの相談をもちかけている。

なかには離婚問題や地域社会の複雑な人間関係、家庭内のいざこざまでもちこむ者もあり、苦しくてつらい胸のうちを泣いて訴える若妻などには、さすが



橘病院の全盛時に

昭和二十三年写真
写真の右から村山リイ、須藤喜策、子ども、その後方の上から左へ春日ユリ子、田中隆一郎、子ども、平沢武四、関根文代、中央が柳誠院長、その後方が水落のみなさん。

戸田千代さん提供

の先生方も手をあげている。気軽に受診できる

「ごらんのとおり、橘病院は他に誇る何ものもありません。郡内の病院中でも、最も地の利に恵まれていないのが橘病院です。これをカバーしうる唯一のものは人の和です。病院は流行からといって良い病院とはいわれません。質的に利用度が高くなることによって、はじめてその病院の真価が発揮されるのだと思います。幸い、この村は地元の理解が深く、後援者の強力なことは我々の最も自慢とするところだ」と語る大藤院長は、農村の利用者が常に気軽に

受診でき、みんなに相談されるような病院にしようとしたえず心をくばっている。

昭和八年九月二十五日の創立以来、幾多の困難をのり越えて来た橘病院は、ことしちょうど二十周年を迎え、今秋は盛大な記念行事を開こうと準備をすすめている。

又、これを機に給食施設の完備をはかろうと、全病棟にスロップ式の階段を設ける計画もあり、かつて分院であつた中条、大割野病院に劣らない農協病院に育てあげようと努力している。

国保直営診療所に

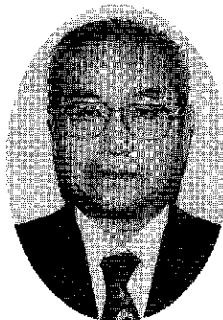
地域医療の核として、住民の

健康を保持増進し、年ごとに診療網の拡大をはかった橘病院は中条・下条・仙田の各村に分院を開設するほどに隆盛をきわめたが、その栄光の歴史は長く続かなかつた。

川西郷の町村合併がとりざたされるころになると、医療関係者のひんばんな交代やニセ医者事件など、諸般の事情が複雑に交錯して、さきに開設した分院が本院をしのぐような事態を余儀なくされてしまつた。

昭和三十一年九月一日に橘村の名が消えると、その経営も川西町に移管され、国保直営の診療所として再出発するのである。

町史のこぼれ話に



ともらしましたら、「熱心な読者のためにも是非続けてほしい」と逆に励まされ、平成四年に意欲をわかせています。

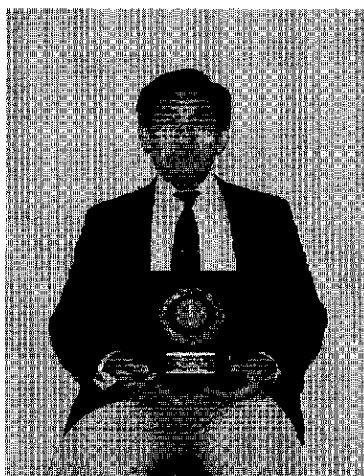
謹んで、新しい年のお喜びを申しあげます。

どれだけの方が読んでくださるかと思念しながら、広報の大切な紙面をうずめてまた一年が過ぎました。編集人の登壇主事に、「おりを見て筆を置きたい」

橘医療利用組合の連載後は、上町の平野正義様ほかみなさまのご要望にお応えして、戦後まもなくに生まれて消えた千手町警察署の短い歴史と、中野村との合併が尾を引いた千手村の三役総辞職騒動と、県下の二大紛争といわれた仙田村の学校問題

等を取りあげてみたいと考えています。お目とおしくください。栄町の南雲一郎様、中仙田の小林栄作様、仁田の戸田千代様、調布市の上村岳舟様（上野出身の書家）、横浜市の関口武三郎様（野口出身の医師）ほか、貴重な感想や励ましのおこばをお寄せくださつたみなさまに心から感謝いたしております。この「歴史は語る」では、「川西町史」に掲載できなかった事項を「こぼれ話」的にまとめていくつもりです。本年もよろしくお願いいたします。

地道な活動が実を結ぶ 町青少年育成町民会議に 記念大賞



十一月三十日、東京虎ノ門ホテルにおいて、「小さな親切」運動全国大会が開催されました。席上、「'91日本列島クリーン大作戦10周年記念大賞」として、町青少年育成町民会議（市川松男会長）の受賞が決まり、十二月三日伝達されました。

「みなさんの努力のお陰です」と受賞を喜ぶ市川会長

昭和五十七年からスタートした日本列島クリーン大作戦は、町ぐるみ、県ぐるみの活動へと発展して大きな成果をあげ、ことし十周年を迎えました。参加者は約一万団体、三百万人にも達しています。

今回、十周年という節目を記念して、町青少年健全育成町民会議をはじめ、特に活躍のめざましかった十一団体に記念大賞が贈られました。

町青少年育成会議は昭和五十六年設立。五十八年から「クリーン大作戦」を実施しており、今ではほぼ全世帯が加入する組織として拡大され、町のイメージアップに努めています。

東京ビデオフェスティバルで

高橋さんが奨励賞を受賞

このほど、第十四回東京ビデオフェスティバル（日本ビクター主催）が開かれ、高橋直人さん（赤谷・38歳）の作品「おばあちゃんの思い出」が、特別部門の奨励賞に選ばれました。

このフェスティバルは、ビデオの唯一の国際コンクールとして知られています。今回は世界十八カ国からおよそ一、〇〇〇点が寄せられ、そのうち四十二

点が入賞しました。このコンクールで町から入賞するのはもちろん初めてで、県内でも初めてという快挙。

高橋さんは、「じき母の一周忌に合わせて、親類の人たちと見ようと思つて撮ったもの。勤められて応募した作品で、賞に入るなどとは思っていませんでした。とても



受賞した高橋さん(右)とナレーションをした長女の杏里ちゃん

ビックリしています」と感想を話してくれました。

高橋さんは、仕事のかたわら、町の催しや学校行事などの撮影にと、忙しく活躍されています。

シタールの響き インド・音世界に浸る



シタールの音色はとても幻想的です

十二月三日、総合センターで「インド音楽を聴く会（シタール演奏会）」が開かれました。これは、町内有志が中心になって公演を進めてきた催しで、町では初めて。インド音楽に親しんでもらうとともに、地方の国際交流を図ることをねらいとしています。

演奏会は、十一月から十二月の、およそ一ヶ月間、県内十二の市町村・十八会場で開催。奏者はシタール演奏では第一人者のキョシロー・ゴーンさんです。シタールの「シ」は数字の七を表わし、「タール」は弦を表すそうです。演奏で使われたシタールは、主弦が七本、そのうち三本で旋律を演奏し、共鳴弦十三本、先端に共鳴のふくべを持つています。

集まったおよそ百人の人たちは、およそ二時間半にわたり、インドの音世界に浸っていました。

図書室 だより

国民文化祭ちば'91
人形劇フェスティバル見聞録

国体の文化版ともいえる各県持ち回りの第六回国民文化祭が千葉県で開催されました。国民の文化活動への参加意欲に応えるものとして大きな意義があります。人形劇フェスティバルも、その一環として行われているものです。全国百余りのプロ、アマの人形劇の公演が二日間にあたって松戸市で開かれました。人形劇といっても、伝統的な文楽人形から子供向けの人形劇まで多彩なものでした。

私が特に心引かれたのは、子供供の読書への興味、関心を高め、豊かな情操を育もうと、人形劇を媒介にして積極的に子供心に働きかけようとしていることでした。各県から推薦を受けた上演団体の過半が、読みみかせの会のサークルの皆さんでした。したがって、メンバーも三十代からの子育て真っ最中のお母さん達なのです。なかでも松戸市おはなしキャラバンは図書館外奉仕活動として子供との対話を取り入れたすばらしい人形劇でした。

電話設備事故ゼロに向けて

●電話引き込み線の着雪、たるみによる断線事故が増えています。雪おろしの際、電話引き込み線、電話ケーブルに注意してください。

●除雪による電話ケーブル損傷で、電話の不通事故が増えています。除雪作業は電話ケーブルに雪を飛ばさないよう注意してください。

*最近では、雪おろしに支障にならないよう電話引き込み線の地下配線化が進んでいます。敷地内に引き込み柱がある場合、工事ができます。新築、増・改築の際、一考ください。

NTT十日町支店 ☎五七三三八〇一

ちいさな展覧会

川西中学校

42

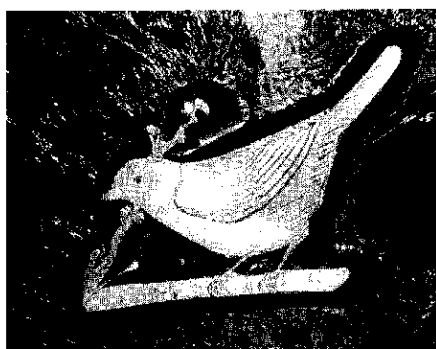
港 明白
井 月雲

1年 滝井 工 君

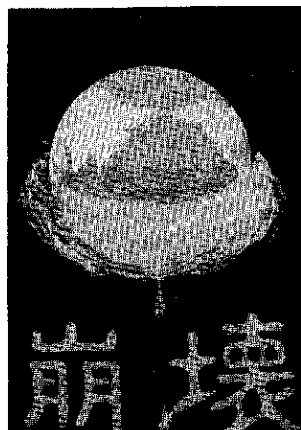
関 雅夫
千秋 里風

2年 関 雅夫 君

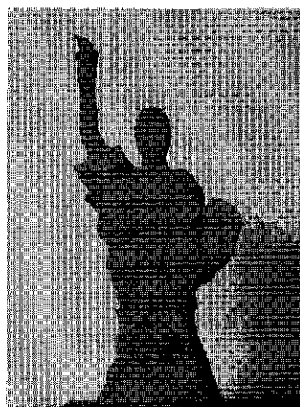
(2月号は千手小学校です)



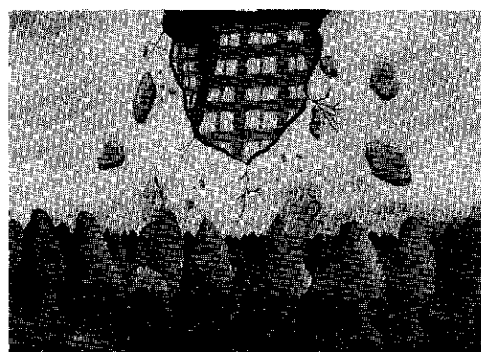
2年 丸山知子 さん



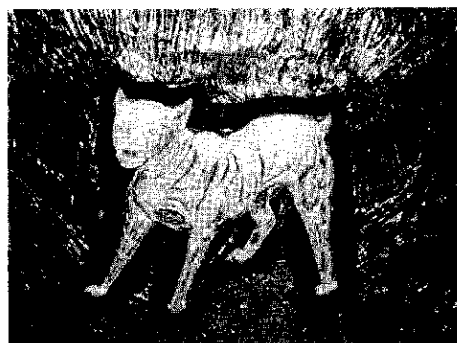
3年 中島雅文 君



1年 星名 茂 君



3年 蔵品芳一 君



2年 星名恵美子 さん

選んでください 県のシンボルマーク

県では今、『新日本海フロント・新潟県』を新しい目標に、魅力ある県づくりを進めるため、シンボルマークを募集します。発展する新しい新潟県に最もふさわしいマークを一つ選んで応募ください。

＊『フロント』という言葉には、「顔」「正面」「代表」「表玄関」「最前線」「先駆者」などの意味を持っています。

◆応募方法◆

所定の応募用はがき（41円切手を貼ってください）、または官製はがきに、あなたが選んだマークの番号一つと、住所、氏名、年齢、性別を記入してください。

応募用はがきは、役場窓口に用意してあります。枚数に限りがありますので、不足の場合にはご容赦ください。応募は一人一通とさせていただきます。

◆応募締め切り◆

平成4年1月31日(金)

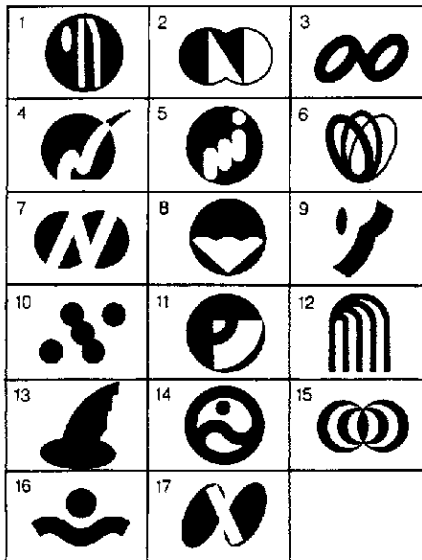
◆あて先・お問い合わせ◆

〒950
新潟市新光町4-1
県企画調整部企画課

調査研究班

☎025-285-5511

次のシンボルマークから
選んでください



若山高志さん（新潟市田・32歳）が、青年海外協力隊員として、十二月九日ミクロネシアへ旅立ちました。

若山さんは、測量技師として、ミクロネシア・ヤップ島で二年間、道路整備などの技術指導に当たられることになっています。ヤップ島は、ミクロネシアの

若山高志さんが

ミクロネシアへ

—青年海外協力隊員として—

西部にあり、人口およそ一万人、面積は佐渡の七分の一くらいの大きさです。

青年海外協力隊は、昭和

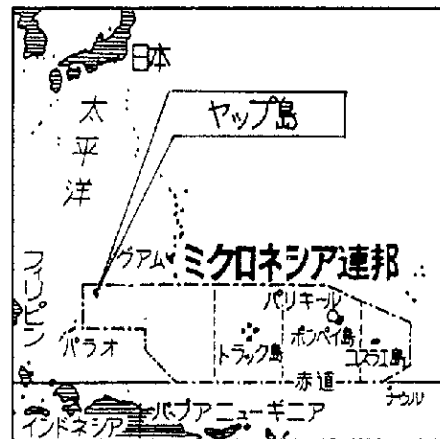
四十年に発足。アジア、アフリカ、中近東、中南米などの発展途上国において、それぞれの技術・技能を生かし、任国の国造りに協力しています。

現在も、四十七ヶ国で約二十人の青年たちが、異文化の中で情熱を燃やし、汗を流しています。

若山さんは出発に先立って、十二月四日町長を表敬訪問し、「異文化や生活習慣になれることが先決で、本当の仕事ができるのは一年くらいと先輩方から

聞いています。あせらず努力をして、測量の技術を伝えたい」と決意を語っていました。

今までに、青年海外協力隊員として、押木真さん（昭和45年・元町・マレーシア）、渡辺孝雄さん（57年・上野・タンザニア）、長谷川雅弘さん（61年・小根岸・ペルー）が活躍されており、若山さんは、町から四人目の隊員として赴任されることになりました。元気で頑張ってきてほしいものです。



平成4年度 農業標準賃金

男子 **6,500円**
女子 **6,100円**
(1日あたり)

農業委員会では、今年4月1日から適用の農業標準賃金を決めました。

これは、あくまでも標準賃金です。作業の内容などにより、頼む人、頼まれる人がお互いに納得のうえで、対応してください。

米消費拡大『標語』で

村越さんが優秀賞

十一月号本紙で募集した、米消費拡大の標語に多数の応募があり、審査の結果、当町では村越由喜さん（野口・50歳）の作品「朝ごはんしっかり食べてスタ

ートだ」が優秀賞となりました。なお、クロスワードパズルの正解は「すこやかボーヤ」でした。当選者は、商品の発表をもつて代えさせていただきます。

戸籍の窓から

たかさごーご円満に

高橋 克己 田戸
高橋 みどり 高原田から
春日 武 仁田
酒井 朝子 十日町市から
羽鳥 秀之 伊勢平治
藤田 なおみ 根 深から

うぶ声 — おすこやかに

高橋 大輝 勇 三男 神社町
高津 達也 正 則 二男 塩 辛
中條 将志 裕 基 長男 岩 瀬
川崎 有甘 弘 明 二女 室 島
高橋 莉子 優 太 二女 小根岸

田口 美幸 一 美 長女 木 落

喜多 悠莉 秀 一 長女 東善寺

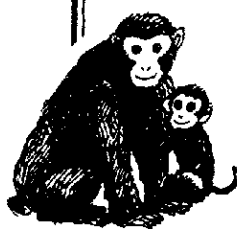
昇天 — ごめい福を祈る

関口 フミ 57 (精 一) 学校町
柄沢 ヤト 77 (勇) 沖 立
高橋 作治 80 (伸 幸) 中仙田
星名 マツ 82 (徳 平) 沖 立
中島 フトウ 82 (増 三) 上 野
星名 定吉 90 (益 雄) 下平新田

新年俳壇

読初・福寿草

太田白南風選



《特選》

福寿草 息ごもりゐる一蕾 岩瀬 金子 ミキ

〔評〕福寿草が蕾を上げてゐる。ふくよかに開くふくらみをもって花となる自然の摂理と時をじっと待機しているかに見える。息ごもりゐるにはその生命と愛情が感ぜられ、蕾の様を作者の主観で表現している。すべてこういう作風が良いとは限らないが、この一語は蕾の様を描写しているものと言える。

《推選》

読み初めの声太かりき 正信偈
書初の一文字一の筆を引く 中仙田 高野仙蒼子
彩を円らに盛りし福寿草 上野 星名 春子
二つ咲き三つ蕾や福寿草 足立区 駒形 頼太
寄せ植えの根べ明るき福寿草 仁田 小幡しん女

《入選》

福寿草黄の大ひらに咲きほころ 原田 根津とさ子
お歌会朗々として読初む 小白倉 江口みゆき
高砂の軸に掛け替え福寿草 高倉 斎木 和人
夫婦して八十路の坂や福寿草 三領 高橋たかし
福寿草一家の様に相寄れる 伊勢原市 金子 桂吉
福寿草親子のごとく寄り添いぬ 練馬区 須藤 遊人
福寿草相寄り合うて睦じく 山野田 藤田ひろし
朗々と万葉集を読み初む 高一 大海たかし
五分咲きの鉢を選びし福寿草 大倉 中条 石平
福寿草七芽の鉢を求めけり 上野 内山 寛平
新しき車庫にも小さき鏡餅 岩瀬 小川 益栄

餅花の映る鏡に向いけり

霜条 大海 白涛
出勤のカード新たや福寿草 野口 野沢 寅生

初春や米寿の母へ長電話 浦和市 登坂博史

ウインドに固き蕾の福寿草 元町 金子 鉄平

ふつくらと蕾を上げて福寿草 野口 村越 幸

福寿草妻のエプロン真新し 小白倉 田中 優美

より添いて日向に開き福寿草 八王子市 松浦 サク

南天の紅白を活け迎う春 岩瀬 登坂伊智子

日だまりの小窓に置きて福寿草 中島町 佐藤 左保

南窓開けて冬至の粥を食う 上町 高橋 願似

実南天白菊と活け床の間に 野口 村越 春野

添え書きのある年賀状親わしく 仁田 戸田 専治

孫あての仮名で書きたる賀状かな 赤谷 登坂 酔月

束はぐし点字の賀状よりわけぬ 中屋敷 数藤 壮一

門毎の囲いそれぞれ松飾る

雪降って一際目立つ鉢の梅 上野 渡辺 朝

初富士のうつつら霧に浮びたる 野口 五十嵐トラ

新しきエプロンをして初仕事 発電所通り 春日 ぶん

読初のシテイブラザー信長記 厚木市 川崎 保一

寄せ植えの南天と松福寿草 新町 沢口美江子

山茶花の紅のほかに初雪に 上野 入沢 はや

家古くせめて新春福寿草 野口 村越 由喜

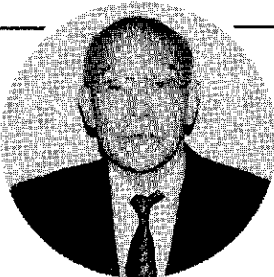
新春の越後三山厚化粧 木落 丸山 詩朗

ひとり居の自由暮らしの日向ぼこ 八王子市 田中 ひき

年暮るゝ国交りゆく寒い国 新町 井川 亘

メ縄の稲穂ついばみ初雀 野口 野沢 静江

初春の年賀にたくす幸せを 仁田 羽鳥 美穂



あけましておめでとうございます。

「かわにし俳壇」は町民の皆様の憩いの広場です。むかしから日本は四季の移り変りの美しい詩情をうたわれてきました。俳句というひとつの趣味で心豊かに日々を過しましょう。

選者近詠 太田 白南風

初御空越後三山晴れわたり
南天の紅鮮やかに初日射
水の神火の神と上々初明
屠蘇酌んでしづかなひとり余生かな